

石峰&抱月のふるさと『地域まるごと博物館』

波佐ネット通信

No. 166 2020.10.5

地域研究センター協議会

【参加団体】

西中国山地民具を守る会
波佐文化協会
能海寛研究会
ほたる湯館G・ゴルフ場

地域学習に取り組む波佐小学校

今年度、地域の総合学習に取り組んでいる波佐小学校5・6年生5名は、中川貴如教諭の下で、みんなで守る郷土の自然地域「常磐のカシ林」で学ぶ自然観察(春・秋2回)、「能海寛から学ぶ」偉人学習、「波佐一本松城」から学ぶ中世の歴史、「たたら製鉄」から学ぶ郷土の産業、「笠松峠の畳石路」から学ぶ江戸時代の街道(鉄と紙の道)を学習します。

9月29日には、偉人学習として、「能海寛の生涯と業績」を学びました。当日は、午後2時から波佐小学校でパワーポイントによる出前講座「能海寛の生涯」を聴講し、引き続き、金城歴史民俗資料館へ手掛けて、能海寛資料の展示見学を行い隅田館長から説明を受けました。終了後に各自5名から感想が発表されました。



能海寛展示室前での記念撮影

今福小学校は、お出かけ学習

10月5日、今福小学校6年生10名は社会科「ふるさとの歴史を知ろう」学習で、金城歴史民俗資料館へ出かけて学習を行いました。当日は、午前10時から「心に残る文化財子ども塾」島根県教育庁埋蔵文化財調査センター主催、講師は宮本正保氏が「ときわ会館」で開催されました。

終了後、10時30分から会場を歴史民俗資料館へ移動し、「チベット巡礼探検家能海寛」の展示資料と「たたら製鉄」の展示を見学しました。

引き続き、企画展「考古資料で学ぶ金城の歴史」を見学し、宮本氏から金城町内の遺跡と出土した石器、土器など展示物を時代毎に判り易く説明されました。この企画展の会期は、12月27日(日)までとなっています。



今福小学校6年生のお出かけ授業のスナップ